

# 1 調査計画

## 【調査目的】

次代を担う若者の、結婚観や経済的な自立の状況、本市での生活状況や今後の居住意向などの意識及びニーズ等を調査し、今後、若者を支援する事業を推進していく上での基礎的な資料とすることを目的として実施した。

## 【調査対象】

20歳から35歳までの市民（住民基本台帳による無作為抽出）

## 【調査方法】

郵送配布、郵送回収

## 【調査時期】

平成26年（2014年）12月

## 【回収結果】

発送数 ----- 2,000人

有効回収数 ----- 484人

有効回収率 ----- 24.2%

### ◆居住地区別回収状況（上段：件数、下段：構成比%）◆

	構成比 %	回答 件数		構成比 %	回答 件数		構成比 %	回答 件数
金光地区	33.1	160	鴨方地区	54.9	266	寄島地区	11.0	53
上竹	0.8	4	鴨方	12.6	61	寄島町	11.0	53
下竹	1.7	8	益坂	2.5	12	無回答	1.0	5
八重	1.4	7	地頭上	0.6	3			
占見新田	9.5	46	本庄	3.3	16			
占見	5.8	28	小坂東	1.7	8			
地頭下	1.9	9	小坂西	4.3	21			
佐方	5.0	24	深田	4.3	21			
須恵	1.2	6	六条院西	3.1	15			
大谷	5.8	28	六条院中	10.3	50			
			六条院東	6.0	29			
			みどりヶ丘	2.7	13			
			鳩ヶ丘	3.5	17			

（問3回答結果）

## 【報告書の見方について】

1. 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。従って回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
2. 2つ以上の回答が可能な複数回答質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
3. 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。全標本数を示す「全体」を「N」、該当数<sup>\*</sup>を「n」で表記している。
4. 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者（例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
5. 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
6. この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

※(例)問Aで1と回答した人のみが、問Bを答える場合の問Bの基数、あるいはクロス集計における各属性(「男性」や「20～24歳」…)など、限定された回答者数